明桜レター

相手への思いやり

副校長　山田芳浩

三年生の皆さん、いよいよ卒業という時期がやってまいりました。これから大海原への出発です。晴れる日もあれば、荒れる日もあろうかと思います。そして、それぞれに夢を抱いていることと思いますが、夢は実現させようという意思が強ければ強いほどそれに近づくもの、最後まであきらめずに前へ進んでいってもらいたいものです。

また、この卒業を機に、親元を離れて一人立ちする人、あるいは親元でも仕事をもち社会的責任が増す人など、皆さんを取り巻く生活環境が相当変わるでしょうけれど、これも人生において楽しみの一つととらえてください。

これから過ごされる数年間は、何をやっても疲れ知らずという、人生でとても貴重な年代ですが、何事も自ら進んで多くのことを体験するということが重要です。スマホなど情報技術の進展によって、いろんな情報が瞬時に得られる時代になりましたが、体験してみないとわからないことが多いのも事実です。失敗を恐れずに行動する。ただ、自分のこと（幸せ）は半分にして、相手のこと（幸せ）も半分は思いながら行動すれば、大概のことはいい成果が得られるのではないでしょうか。

厚生労働省の調査によれば、秋田県の平均寿命は、男性79・51歳、女性86・38歳ですが、健康寿命は男71・21歳（全国46位）、女性74・53歳（全国33位）という今日、健康があってこそ楽しい日常生活を送れますので、その基礎作りが大切といえます。私は、時々武道館で運動していますが、最近感じることは、高校生といった若い身体であっても、意外と体が硬い人が多いということです。床で両足を伸ばした姿勢で、背中押しを補助すると、少しの角度で「あと無理ですっ」と言われたりします。相撲力士は、毎日のように柔軟運動をすることによって体をしなやかにして、ケガを防ぐ努力をしています。是非、若いうちに柔らかな体づくりをして、物事に柔軟に対応できる、健康な人生を歩んでいってほしいと思います。

心から、エールを送ります。おめでとうございます！

卒業おめでとう！

師の教え

3年部主任　長谷川　孝

私が高校を卒業する際の恩師からの言葉をいくつか紹介します。一つ目は、「学業と部活動をよく頑張ったね」という労いの言葉です。早朝からの補習と終電までの練習の一部始終を担任は評価してくれました。二つ目は、証明書発行時の事務についての諸注意です。卒業年度・科・クラス・担任の名前はずっと覚えておくようにとのことでした。そして三つ目。「高校までの勉強とは先生から与えられた課題を早く正確に解くことだったが、これからは解くべき問題すら自分で発見して解答しなさい。」というものです。年齢を重ねるたびに私はこの教えのありがたさを感じています。

このたび明桜高校を巣立っていく343名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。この三年間で立派に成長した姿にはご家族の方々の喜びもひとしおではないでしょうか。これからは社会人として新しい環境に身を置くことになるわけですが、熱く強くたくましく生きていくことを心から期待しております。

贈る言葉

3A担任　鷲谷　翼

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

私は世界史が専門なので、文化史の中で儒教や哲学の授業をするたびに、「幸せ」ということに関して考えさせられます。「幸せ」の基準は時代によって変化してきましたが、今日の世の中ほど価値観が多様化し、様々な「幸せ」が存在している時代はなかったように思います。皆さんにとっての「幸せ」とは何ですか？お金？人に認められること？自由？他にも様々考えられることはありますが、私は人と比べないことが大事だと思います。日常に溢れている細やかな幸せを感じながら、力強く人生を歩んでいってくれることを期待します。

3B担任　佐々木俊作

卒業おめでとうございます。これからは自分で自分を律していかなければなりません。高校までは学校という枠の中で、決められた範囲の行動が

3A・B副担任
佐貫　大知

許されていました。しかし、これからは進学であっても、就職であっても、自分の考え・行動がすべて結果として表れるので、誰のせいにもできません。しかし、頑張り次第でいくらでも未来を変えることができます。努力を惜しまず、自分に厳しく生き抜いていってください。

3C担任
黒澤　光栄

三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。皆さんのエネルギーに満ち溢れた様子を毎日肌で感じていました。そのエネルギーを心に秘めるだけでなく、ぜひ放出してください。若いからこそできることがたくさんあります。その日はもう戻ってきません。色んなことに積極的にチャレンジし、たくさん失敗し、悩み、成功し、自分にとって最高の人生を歩んでほしいと思います。阿部真央さんのとある一曲の歌詞です。「君にしか分からなくたって楽な道は選ぶな、最後に報われるのは逃げずに居た君自身だから」

3D担任
菅原　正徳

できたのではないかと思っています。ありがとうございました。さて、いよいよ高校卒業となりますが、これで終わりではなく、これからが始まりです。四月からの新生活では、自分の可能性を信じ、努力を続けてさらなるキャリアアップを図り、どんなことがあっても前向きに、笑顔を忘れず、目標に向かってチャレンジしてください。

卒業おめでとう!!

3C・D副担任
徳永　謙二

皆さん高校ご卒業おめでとうございます。

晴れて自由の身になったと思っているかもしれませんが、社会は高校生活よりも厳しく楽しいところです。これからの自分の言動で、厳しくも楽しくもなります。

何事にも、諦めずにチャレンジする気持ちを忘れないことを祈っています。

3E担任
石崎　聖也

三年生の皆さんご卒業おめでとうございます。

これから各々の進路で新たな環境になり、高校までとは比べられないくらい人生の幅が広がると思います。僕は一年間浪人生活をして大学に進学しましたが、その一年間が非常に大きなものでした。本来であれば勉強をしなければならないですが、浪人時代に人生初のアルバイトを始め、その時のバイト仲間とは今でもご飯を食べに行く際に色々な話を聴くことができます。成績こそ落ちましたが、それ以上に大切なものを得ることができたと思います。それぞれの置かれた環境での一つひとつの事が新たな財産になると思うので何事にも精一杯取り組んでください。

3F担任
鈴木　健樹

三年生の皆さんご卒業おめでとうございます。

皆さんが入学した二〇一七年、明桜は甲子園という大舞台で一つになったことを皮切りに夢と可能性が広がり、様々な部活動の活躍が目立つようになりました。そんな皆さんと共にした日々はかけがえのない財産です。「憧れ→目標→努力→忍耐→達成→喜び」のサイクルを心がけて有意義な人生を創り上げてください。

3E・F副担任
長谷川　孝

歴史を勉強していると、様々な人生と出会います。室町時代に能を大成させた世阿弥は、若い役者がまとう魅力を「時分の花」、年齢を重ねた役者が醸し出す魅力を「まことの花」と呼んで分けて捉えています。「時分の花」も大切なものではあるが、時間の経過とともに失われるものであるから、慢心せずに「まことの花」を身につけるための精進が新たに必要だとしています。十八歳のみなさんにとって、今有る若さは武器です。存分に振るい、大いに活躍してください。そして、やがて若くなくなった時にも続けて活躍できるよう、たゆまずに経験と教養をたっぷり蓄えてください。

卒業おめでとう。素敵な大人になった皆さんと、また会える日を楽しみにしています。私も頑張りますので。

私の好きな言葉に「優勝」という二文字があります。高い意識を持ち、周到な準備を行い、最大限の努力をした結果、どんな試合にも負けなかったという意味にでも解釈されるのでしょうか。もちろん多くの人々からの支えがあってこその勝利ということにもなります。みなさんはこの学び舎から巣立って人生という道のりを歩んでいくわけですが、不断の努力と感謝感激の気持ちを忘れることなく、常に優勝目指して取り組んでほしいものです。

3G担任
三浦　一喜

ご卒業おめでとうございます。

一年ぶりにこの学年に携わることができ、四月最初に思ったことは、「変わってないなぁ」でした。この感想は良い意味ではありません。身体は成長していましたが、心の成長が見られなかったからです。しかし、日を追うごとに三年生の自覚が芽生え、受験を意識するようになってからは「進化」と言うくらい逞しくなってくれました。

これから社会に出ると、高校生では考えられないことが多く降りかかってくるハズです。三年生一年間の成長だけでは足りないくらい、もっともっと大人になって、いつか明桜高校に帰ってきて下さい。そのときを楽しみにし、この言葉を送ります。

「またいつか、どこかで・・・」

3H担任
柴田　邦彦

皆さんの学年とは一年生の時に一緒でした。一年間をおいて再び同じ学年となりました。強い縁を感じたものです。

その時は皆さんの顔つきといい態度といいその成長の度合いに驚きました。この年代の一年は大きいなと思ったものです。そして今また卒業という形でお別れの時期がやってきました。この次に会う時はどれくらい成長しているだろうかと今から楽しみにしております。一回りも二回りも成長した姿を見せてください。皆さんとはまた会えるような気がします。元気な姿でまた会いましょう。「瀬をはやみ岩にせかるる滝川の」

3G・H副担任
奥石　重弘

卒業おめでとうございます。こんな若者がいました。将来プロ野球選手になってメジャーリーグで活躍したい。そんな彼は中学二年生のある夕食時に友だちの悪口を言った。父親は箸を止め『人の悪口を言うな。立派なプロ野球選手になりたいのなら、二度と悪口は言わないと、今ここで約束しなさい。』と強い口調で言った。彼は父親との約束を貫き、一言の悪口も言わなくなりました。それから二十一年後、彼は、日本人初のワールドシリーズMVPを獲得します。松井秀喜選手のエピソードです。言葉をコントロールすることで自らを律し、夢を叶えてきた。言葉の積み重ねが人生を創る。これから、みなさんはどんな言葉を積み重ねますか。

3I担任
吉田　景太

自動車の運転が上手い人の特徴は何でしょうか？いろいろな意見があると思いますが、「遠くを見られる人」だと思います。一〇〇mくらい先を見ているので、予め危険を察知でき、それに応じて対処ができます。反対に近くばかりを見ている人は目の前にあるものしか見ていませんから、突発的な事に対して対処ができません。

出来るだけ遠くを見て全体像を把握し、人生という自動車を運転する。この自動車を運転できるのはあなたです。あなたが人生の主人公なのです。あなたが思い描いている夢や目標を達成できるように、あなただけの自動車を運転しましょう。良いドライブを！

3J担任
藤原　尚紀

皆さんが入学したあの日をとても懐かしく感じます。とても緊張した面持ちで教室に集まっていた君たちをよく覚えています。実は、私もとても緊張していました。教員生活で初めて担任になったからです。大変なことは山ほどありましたが、皆さんが少しずつ大人に近づいていく姿を見てとてもうれしく、楽しかったです。この経験は私の教員人生の礎となることでしょう。皆さんもこの高校生活で学んだことを忘れず、さらに精進を重ねてください。高校というステージは卒業ですが、これから社会人として新しいステージに立ちます。さらに困難なことが数えきれないほど待っています。それを乗り越えながら人生を楽しむことができるかは精進の結果によるでしょう。一日一日を大切に、人生を思いきり楽しんでください。ただし、ほかの人に迷惑をかけて自分だけ楽しむのはだめですよ。

3I・J副担任
佐藤　俊大

これからみなさんが進む道は、うまくいかないこともあるでしょう。

これまでの常識が通用しない時もあるでしょう。

自分の決めた道をこれまでの努力を信じて、力強く地面に根を張って突き進めば、大きな**花**を咲かすことができるでしょう。

自分の可能性を信じて頑張ってください。

卒業おめでとうございます。

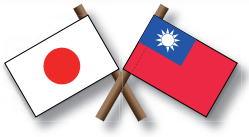
ニュース＆トピックス

①生徒会役員改選

12月13日に行われました生徒会役員選挙で新しい生徒会執行部が誕生しました。生徒会長に熊谷泉匡さん（2J）、二年副会長に鎌田愛矢さん（2H）、一年副会長に広幡桃矢さん（1G）が就任しました。これからの明桜高校をけん引してくれることでしょう。

②台湾短期留学生が来校

令和2年1月10日に台湾・新北市立淡水高級商工職業学校から4名の短期留学生（蔡依璇、于右恩、朱昱衡、洪睿妤）が来校しました。短期留学生は、3月20日まで本校で授業をうけながら秋田各地での校外研修、日本語授業に参加する予定です。



氏　名	日本語読み
蔡依璇	さい　いせん
于右恩	う　うおん
朱昱衡	しゅ　いくこう
洪睿妤	こう　えいよ

平成31（令和元）年度 部活動成績

令和元年10月～令和2年1月

運動部

◆野球
・第72回秋季東北地区高等学校野球大会　2回戦

◆バスケットボール男子
・第72回全国高等学校バスケットボール選手権大会秋田県予選会　ベスト4（3位）
・中央支部新人大会　ベスト8

◆バスケットボール女子
・第72回全国高等学校バスケットボール選手権大会秋田県予選会　1回戦
・中央支部新人大会　予選リーグ敗退

◆男子サッカー
・第98回全国高等学校サッカー選手権大会秋田県大会　ベスト4
・令和元年度秋田県高等学校体育連盟中央支部新人大会サッカー競技　準優勝
・令和元年度秋田県高等学校新人サッカー大会　優勝
・高円宮杯ＪＦＡ－18サッカーリーグ2019秋田1部　2位
・高円宮杯ＪＦＡＵ－18サッカーリーグ2019秋田2部　2位
・高円宮杯ＪＦＡサッカープリンスリーグ2019東北参入戦　1回戦
・第19回東北高等学校新人サッカー大会　ベスト4

◆女子サッカー
・第28回全日本高等学校女子サッカー選手権東北大会　2回戦
・第19回東北高等学校新人女子サッカー大会　3位

◆バドミントン男子
・中央支部新人大会　団体戦　初戦敗退
男子Ⅰ部ダブルス　木元　翔也・櫻田　凌那　ベスト16
男子Ⅱ部ダブルス　井上　陽大・戸嶋　悠月　ベスト8
男子Ⅰ部シングルス　木元　翔也　ベスト16
・全県新人大会　団体戦　初戦敗退

◆バドミントン女子
・中央支部新人大会　団体戦　初戦敗退
Ⅰ部ダブルス　山内　羽衣・吉川　美史　初戦敗退
菊地　風羽・近藤　帆花　初戦敗退
Ⅰ部シングルス　山内　羽衣　3回戦進出
吉川　美史　初戦敗退
菊地　風羽　初戦敗退
近藤　帆花　初戦敗退
Ⅱ部ダブルス　岸部　博未・石郷岡愛癒　初戦敗退
Ⅱ部シングルス　岸部　博未　2回戦進出
・全県新人大会　団体戦　ベスト8
Ⅰ部ダブルス　菊地　風羽・吉川　美史　2回戦進出
Ⅰ部シングルス　山内　羽衣　2回戦進出

◆ソフトボール男子
・第59回秋田県高等学校新人大会　優勝
・第14回東北高等学校男子・女子ソフトボール大会　1回戦

◆ソフトボール女子
・第59回秋田県高等学校新人大会　ベスト8
・第27回東北私立高等学校女子選抜ソフトボール大会出場

◆テニス
・秋田県高等学校総合体育大会テニス競技
男子団体　1回戦
男子シングルス　小野寺健吾　1回戦
女子シングルス　飛鳥　美咲　1回戦
・第32回大野杯テニス選手権大会　予選
男子シングルス　小野寺健吾　5位
瀧口　威　3回戦　信太　幹治　2回戦
伊東　千冴　1回戦　平泉　李空　1回戦
女子シングルス　飛鳥　光咲　1回戦
・第6回東北私立高等学校テニス選手権大会
男子団体　15位

◆卓球
・秋田県高等学校新人大会卓球競技
男子団体　2回戦敗退
男子ダブルス　半田　光将・伊勢谷駿介　1回戦敗退
男子シングルス　半田　光将　2回戦敗退

◆レスリング
・第74回国民体育大会
少年フリースタイル125kg　佐々木優太　5位
・秋田県高等学校新人レスリング大会
団体　2位
個人
55kg　持田　隼佑　2位
60kg　伊藤　空　3位
65kg　飯塚　登生　3位
92kg　佐々木優太　優勝
・ＪＯＣ北海道・東北ブロックレスリング大会
カデットの部　55kg　持田　隼佑　5位（全国）
110kg　佐々木優太　優勝（全国）

◆剣道
・第16回日本海旗秋季練成大会
男子団体　第3位
・中央支部新人剣道大会
男子団体　予選リーグ敗退
男子個人　石井　歩希　ベスト8
・第60回秋田県高等学校新人剣道大会　男子団体　第3位
東北大会出場権
・第32回紅花旗争奪高校剣道大会　男子団体　準優勝
児玉　旭　優秀選手賞
・第29回全国高校剣道選抜大会秋田県最終予選会　男子団体　第3位
・第31回東北高校選抜剣道大会
男子団体　予選リーグ敗退

◆水泳
・第27回東北高等学校新人水泳競技大会
男子４００ｍ自由形　予選
小林　恭弘　19位

◆少林寺拳法
・全県高等学校新人大会
男子単独演武　千田龍之介　優勝
男子学校総合　優勝（初優勝）

◆陸上競技
・第65回秋田県高等学校総合体育大会駅伝競走大会
男子　加藤・岩谷・伊藤・三浦　6位
櫻田・浪岡・加賀
女子　加藤・深井・遠藤　5位
桂田・石井

文化部

◆放送
・第40回　秋田県高等学校放送コンクール
テレビキャンペーン部門
危険な「青いかがやき」優秀賞（東北大会出場）
五人五色　入選（東北大会出場）
ラジオキャンペーン部門
最初の自己紹介　優秀賞（東北大会出場）
２０４９年からの願い　入選
オーディオピクチャー部門
Ｏｗｎマイティー　入選
ビデオメッセージ部門
文学が残した足跡　入選
総合順位　4位

◆吹奏楽
・全日本アンサンブルコンテスト第42回秋田県大会中央地区予選
金管8重奏　金賞
・全日本アンサンブルコンテスト第42回秋田県大会中央地区予選
サクソフォン4重奏　金賞
・全日本アンサンブルコンテスト第42回秋田県大会
金管8重奏　金賞・代表
・全日本アンサンブルコンテスト第42回秋田県大会
サクソフォン4重奏　金賞・代表
・第32回秋田県中央地区ソロコンテスト
出場　甘野　大聖
・第32回秋田県中央地区ソロコンテスト
出場　佐々木渓吾　藤野　大志

◆写真
・第52回秋田県高等学校総合美術展
バンダリシクシャ　推奨
安田　晃介

◆美術
・第52回秋田県高等学校総合美術展（美術工芸部門）
デザイン部門　佐藤　由脩　特賞（全国初出品）
デザイン部門　工藤　大雅　推奨
デザイン部門・絵画部門　横山　昂矢　推奨・入選
デザイン部門　加藤　遥　推奨
デザイン部門　全　真裕美　推奨
デザイン部門　菊池　涼華　推奨
デザイン部門　小柳　美唯　入選
デザイン部門　岡田　優　入選
デザイン部門　加藤万柚子　入選
デザイン部門・工芸部門　佐藤　勇　入選・入選
デザイン部門　加藤　凛　入選
デザイン部門　伊藤　和真　入選
デザイン部門　石塚　智秋　入選
彫刻部門　鈴木　雅威　入選
彫刻部門　佐々木　響　入選
彫刻部門　柴田　智也　入選
絵画部門　佐々木玲登　入選
絵画部門　土田　恭平　入選
絵画部門　原田　蒼生　入選

◆書道同好会
・第52回秋田県高等学校総合美術展書道部門　加藤　遥　入選
・秋田県書初め大会　河合　茜音　特選
加藤　遥　特賞

◆文芸同好会
・第12回ノースアジア大学文学賞高校生エッセイ部門　菊池　涼華　奨励賞

編集・発行
明桜高等学校
秋田市下北手桜守沢8番地1